

『子供の事故情報データベース』を活用し、子供に安全安心な製品・サービスの開発・改良の好事例を創出したい！

課題



- 子供の事故情報データベース（令和 7 年 3 月公開）の情報・データを活用した子供にとって安全安心な製品・サービスを新たに創出したい。
- こうした具体的な活用事例をモデルケースとして発信していくことで、本データベースの活用促進につなげていく。

【参考】[子供の事故情報データベース](#)

- ・学校・保育施設での事故や製品事故など、様々な子供の事故情報を幅広く掲載
- ・例えば保育所での事故では、発生時の状況や場所、時期、時間帯、子供の年齢等の詳細を確認可能
- ・Web ニュース・学術論文の検索・閲覧、統計情報をグラフ化し経年比較等ができる機能も搭載

背景

- 子供の事故予防策の研究や安全な製品の開発・改良には、幅広い事故情報の収集・分析が不可欠である。
- そこで都は、子供に関する事故情報等を一元的に検索・閲覧できるようにするため、様々な機関がそれぞれ公開している情報を集約したオープンデータベース「子供の事故情報データベース」を令和 7 年 3 月に開設した。
- 今後、子供にとって安全安心な製品・サービスの開発等に本データベースを活用してもらうには、具体的な利活用事例を創出することで本データベースの活用可能性を広げ、より多くの事業者等へ訴求していく必要がある。

現場からのコメント



- 創出を目指すものには、製品だけでなく、ソフトウェア・アプリ等のサービスを含みます。
- データベース内のデータを直接取り込んだ製品・サービス（例：AIを活用した危険検知アプリなど）に限らず、企画やリスクアセスメント等の場面での利活用についての提案も期待しています。

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

子供政策連携室
（企画調整部企画調整課）

子供の事故予防に係る施策の企画や調整、取組の推進等に取り組んでいる。